

鉛フリー半田検査

多数の問い合わせを戴いております。

大変感謝です。開発者の岡内に代わり、心より御礼申し上げます。



岡内でした！！

ということで話は戻りまして、鉛フリー検査について専門的な話を少し

(たまには専門家集団的なところも見せない！！)

今回のコメンテーターは、(株)共立理化学研究所の岡内社長をお招きしておりますので、そのあたりを掘り下げて参りましょう！

Q. どのくらいの鉛の含有率まで簡易的に計れるの？

A. 極めて高濃度、例えば鉛が50%も含まれているものは検出できますが、低含有率のものは専門的な装置が必要になります。20%くらいまでは検出できるはずです。

Q. 水道水に試薬を入れると変色します。これって水が鉛を含んでいるってことですか？

A. それは違います。都内の鉛配管部は少ないので鉛ではないと思います。亜鉛、鉄分があっても着色しますので。

Q. この判定セットは1セットで何回の検査が可能ですか？

A. 約100回使用可能です。

今日は岡内社長をお招きした第1回 Q&A を開催致しました

鉛フリー半田続報！

ちょっと間が空いてしまいました。すみません！！

詳細がだんだん明らかになってきましたので、お伝えします。

写真は...



とこんな感じです。

試薬につけて、色の変化を



のようにチェックするのです。

いやー実に簡単です。

こんなに簡単なら絶対チェックするべきですね。

というか、人間にも影響があり、環境にも影響があるのでもっと私たちが意識するべきだなーと、痛切に思いました。